

JAAC だより

～ 経済低迷下の米国州立大学の現状と運営上の諸問題 ～

— 米教育界に与えるリーマン・ショックの余波 —

リーマン・ショックという言葉がつい過去のものであるかのように、最近ではその言葉自体を耳にする機会が減ってきたように思います。しかしながら、世界の証券界に君臨した一大証券会社の破綻劇は、その後も色々な所に数々の影響を与えてきました。世界の金融と証券界に多大な影響を与えたことはもちろんのことですが、今年に入ってからには特に、アメリカの教育界に大きな変化をもたらす原因となりました。経済の低迷から各州の税収額が大幅に減少したことを受けて、各州の教育にかかる費用の捻出が難しくなっています。以前にも、本紙上で大学運営費の大幅削減による、大学のスポーツ部活動存続の危機についてお話ししました。アメリカでは、教育に関する基本的な取り決事と方針は連邦政府が掌り、その運営に当っては各州の教育法により定められています。いかにも、合衆国と言われる所以を垣間見ることが出来ますね。ですから、初等・中等教育に費やす12年間は6・3・3制であったり、4・4・4制であったりするのはその州によって異なるわけです。

それ故に、各州の教育現場のあり方は州の教育財政に大きく左右されます。特に、州立大学の運営については同州からの助成金に頼るケースが多く、各大学はその助成金の他に、学生から支払われる学費収入や企業からの献金に頼らざるを得ません。州内の経済低迷により税収は減り、また、企業の収益悪化により大学や各種研究機関への献金額も減っています。更には、家庭の経済事情から大学へ進学する学生数の減少に直面している大学もあります。まさに、負のスパイラル現象がここに見られます。今年に入ってから、財政上やむなく授業料を引き上げる大学の数が増加しています。このことにより、留学生への負担が増し、留学の継続を危ぶむ学生も大勢いるのです。ほとんどの州立大学では、一般のアメリカ人学生が支払う授業料の約2倍から3倍の額を留学生に課しているのが実情です。州税を納めているアメリカ人とは異なる立場であることがその要因ですが、高額な授業料になれば、大学側も留学生の数が減ることのリスクを認識していることでしょう。

また、4年制大学では学生収容数と施設許容の範囲内で最大限の3年次編入生の獲得に努める大学も出てきました。一般的に、アメリカの大学の学年別人数構成を見ますと、1年生から4年生へと学年が上がるに連れて学生数が減っていきます。これは、アメリカの大学の特徴でもある『入るのは優しいが、出るのは難しい』と、言われていることの表れでもあります。多くの学生が新入生として入学しても、学年が上がるごとに学習の難易度が増すために、卒業まで在籍する学生数がかなり減少するのです。そこで、大学側としては更なる授業料の獲得策として、3年次編入希望者の受入数を増やす試みを行います。編入希望者数が増えれば、当然、編入合格における倍率も上がり、編入を希望するJAAC生の進路にも影響が出ることとなります。既に、実際にそのような境遇に置かれているJAAC生がいます。従来の編入基準を満たすGPA成績でありながら、希望者数の増大により必然的に編入合格基準が高くなり、志望校への編入が叶わない事例もこれから出てくると思われます。

いくつかの大学では、リーマン・ショック以前からの入学希望者数増加の需要に応えるために、新たな校舎の建設や従来の校舎に増設工事を加えるなどの建設工事を進めています。財源不足のために完成の目処がたたない状況も見られます。このような大学においては、編入希望者受入数を増やそうとしても、収容する教室等の不足により、その目論見が果せません。更には、経費削減策として、いくつかの需要頻度の少ない(人気の少ない)教養科目をカリキュラムから削り、それに伴い当該講師陣の無期限解雇を実施する大学も現れました。ほんの一握りの有名私立大学や州立大学を除き、企業からの献金額は減少の一途を辿り、ますます大学運営が難しいものになってきています。ここに来て、統計によると全米のコミュニティー・カレッジへの入学希望者数が増えてきています。最初から授業料が高い4年制大学に入学するのではなく、学費が安価な2年制コミュニティー・カレッジに入学し、アルバイト等しながら将来の4年制大学3年次編入を目指す学生が増えている傾向があります。留学生にとっても、授業料の安いコミュニティー・カレッジに通うことには大きなメリットがあります。そして、修了(卒業)後は4年制大学の3年次に編入するという留学計画を立てる日本人留学生が増えることでしょう。このような意味からも、コミュニティー・カレッジは益々、重要な役目を持つ事になるでしょう。

産業界と教育界との間の産学協力体制を健全なものにするためにも、早期の経済と景気の復興が期待されます。一方、大学側としても独自に財政上の改善策を見出さなくてはなりません。学術上の『真理の探究』という大学が持つ第一義的な役目を果たす上でも、各州の財政安定化と大学の安定経営を望んでやみません。(完) (カリフォルニア事務局：照井)

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・?

～ 増え続ける新型インフルエンザ感染者 ～

－ 引き続き注意を喚起します (2) －

前号に続き、このコラムを通じて、新型インフルエンザ A (H1N1) 感染予防における注意を改めて喚起したいと思います。最近のWHO (世界保健機構) の発表によると、北中南米全域における発症症例数は146,000例を超え、死亡者の数は約3,300人となりました。全世界的な規模で見ますと、発症症例数は378,300例を超え、死亡者数は少なくとも4,530名以上というものです。今後、北半球では本格的な冬期を迎えるに当たり、感染者数が益々増加の傾向にあります。

ハワイ州を含む全米で留学生活を送っている JAAC 生におかれましては、最大限の注意を払われますようお願いいたします。具体的な予防法としては、外出先から帰った際には、必ず手洗いやうがいをするなどがあげられます。特に、手洗いは効果的な予防策であることが世界的にも認められ、手洗いに当てる時間は『ハッピー・バースデー』の歌を2回歌うぐらいの時間だ、と言われていました。簡単に、且つ、身近にできる予防策を必ず行うようにしてください。

これから冬期に向かい、“一般的な風邪”をひくことがあると思います。新型インフルエンザと“一般的な風邪”の初期症状に大きな違いはありません。『風邪かな・・・』と思ったら、大学内の Student Health Center や近くの病院での診察を必ず受けましょう。また、その時の様子を必ず JAAC カウンセラーに伝えてください。

Help Line

FAQ

「自動車保険の更新で何か注意することは・・・？」

A: 今までの保険内容と全く同じものに更新する場合でも、年齢が21歳を過ぎたのであれば、保険の費用も変わってきます。また、車を変えたのであれば、車種や車の色によっても保険内容と費用が変わることもあります。今までの自分の運転パターンを振り返ってみて、必要な担保項目だけを組み入れることによって、保険費用を安く抑えることも可能です。もう一度、自動車保険の用語をもう一度確認しておきましょう。

Liability: 賠償責任保険 (事故等で相手を怪我させたり、所有物を壊した際に適用)、**Collision:** 車両保険 (自分の車の損害に適用)、**Comprehensive:** 総合車両保険 (collision に盗難と災害等も加わるプラン)、**Medical:** 医療保険 (事故等による医療費に適用)。これらの内で何か使った項目はありますか? また、必要ないと思う項目はありますか? これらの中で、必要なものだけの保険に加入することができます。また、州によっては、Liability (賠償責任保険) と Medical (医療保険) に加入することが義務付けられていますので、良く注意してください。上記の他にも、簡単にインターネット上で申し込める安い保険もありますので、その際にはカウンセラーに相談してください。自分に一番合った保険に加入することが大切です。

【編集後記】 ●多くのアメリカの州立大学が直面している財政上の問題は深刻である。経済力が比較的低い州では学生の確保も難しい状況である。余談だが、9月に日本で行われた某大手留学斡旋会社の留学フェアに出展参加したアメリカの大学数は過去最小となった。これらの大学の多くは日本への出張旅費を捻出できなかったと言う▼これから冬に向い、新型インフルエンザの発生が心配される。ここ何ヶ月も同じことを繰り返し言っているが、普段からの手洗いやうがいを必ず習慣づけてほしい■来月(11月)ポストンで開催される Boston Career Forum 2009 に出展参加する企業の数が、来年度の就職状況を物語るだろうと言われている。来年度の就職状況は極めて厳しいと言われているからだ。JAAC 生の諸君、頑張れ!! (照井)

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲新型インフルエンザ (インフルエンザ A (H1N1)) における注意喚起を継続します: アメリカ国内での感染者の数は今なお増え続けています。何らかの体調不良を感じた場合は、直ぐに JAAC カウンセラーに相談し、医療機関等での適切な治療と処置を受けるようにしてください。また、普段から“手洗いやうがい”を必ず行いましょう。

■年末年始に帰省される皆さんへ: 年末年始の帰省用航空券の発売が始まりました。米国内の乗り継ぎ便を利用する方は特に早めに予約されることをお勧めします。また、航空会社の都合により日本への乗り入れ便数や航空路が変更されている場合がありますので、ご注意ください。

▼ジョブフェアのご案内: Boston Career Forum 2009 が11月20日(金)から22日(日)の予定で、ポストンで開催されます。詳しくは、<http://www.careerforum.net/event/bos/index.asp?lang=J> をご参照ください。

★JAAC だより今月号についてのお知らせ: 紙面と編集上の都合により、「カリフォルニア通信」と「ミズーリー通信」の掲載をお休みいたしました。前号に続き掲載できず申し訳ありません。次号ではまた新しい題材を皆さんにお届けしたいと思います。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口:

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当: 高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木: t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当: 照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp